

# 枝豆共同選果場計画は前倒し

## 来年の出荷から稼働目標に

### 弥彦村 資金は村長決裁で手当て

## 7氏が一般質問

### 弥彦村9月定例会

2日目  
9月7日

午前九時五十八分開会。村政に対する一般質問を行い、古川七郎(けやきの会)、板倉恵一(同)、渡邊富之(同)、那須裕美子(無所属)、柏木文男(けやきの会)、丸山浩(無所属)、本多隆峰(同)の七氏が小林豊彦村長への考えをたじた。午後二時五十一分散会。きょう八日は休会。明九日は本会議・総括質疑を行う。

本多氏は昨年度実施した競輪事業の個別外に、個人外部監査は平成二十八年の六月定例会で可決した。競輪事業の個別外について、もやぶさか二十八年度の六月定例会で初めて提案したが、部監査の結果の公表には「弥彦村は不正がなかった」として、今後のスケジュールなどを質問した。

昨年三月定例会で可決した。個人外部監査は平成二十八年の六月定例会で可決した。競輪事業の個別外について、もやぶさか二十八年度の六月定例会で初めて提案したが、部監査の結果の公表には「弥彦村は不正がなかった」として、今後のスケジュールなどを質問した。

調査結果の公表について、廣瀬勝利副村長は顧問弁護士との協議の結果として「監査対象外の部分や、個人、団体のプライバシーの侵害となる部分についてそのままオープンにするかは疑義があり、問題があるのではないかと述べ、現在の新型コロナウイルス感染症の状況を見て、宇澤計事務所の考えを判断したうえで対応を判断するとした。

二月二十八日の全員協議会で、小林村長は「一番心配しているようなことは今回報告にできなかった。要するに着服された形跡はない。ただし問題があるというのはいくつかあった」と、調査結果を報告した。

とるが、三月定例会の一般質問では「宇澤代表が一言に言ったことは『通常の競輪業務の委託料についておかしなところはあります。せんでした』というお答えだった」と報告し、

「委託料は高いと思うが、不正がなかったというところが分かっただけでも無駄遣いではない」と述べた。

本多氏に対する小林村長の答弁は三月定例会の質疑を振り返ったものとみられ、競輪業務の委託料以外について、何らかの「問題がある」ことを示唆する格好となった。

渡邊氏は今年度事業として建設する枝豆共同選果場の進捗よく状況と、枝豆のブランド化について質問。小林村長は共同選果場について、九月十八日に造成工事の入札を行うことを説明し、「令和三年九月の竣工をめざしてタイトなスケジュールではあるが、今のところ計画は順調に進んでいる。私自身、担当の農業振興課に対して来年七月から操業を開始していることから、



弥彦村9月定例会2日目一般質問



一般質問に答弁する小林村長

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、

**通常通り営業 致しております**

皆様のご来店をお待ちしています。

古民渡通りのBAR モンザ

三條市本町(新小路) 32-3042

http://sanjo-monza.jp

# 現代の

(協)三条工業会(文)から三条商工会議所の精算方法の品質管理講座を開く。

管理基礎講座は毎年、伝統的鍛冶技術継承事業とともに進んでいるもので、同事業の実技講座受講生たちにも聴講を呼びかけて開く。

このため、初めて品質管理に携わる人でも理解しやすい内容で、自社の管理改善へのヒントを得ることができると、IoTによって起る現代の「産業革命」についてや、

小林村長は、補助金の減額は、退職した元村職員の事務局長の人件費分として「シルバード名」について、